
小規模事業者のアンケート調査 報告書

令和3年3月
白石商工会議所

<目次>

| | | |
|-----|----------------------|----|
| 第1章 | 調査結果の概要 | 1 |
| 1-1 | 調査概要 | 2 |
| | (1) 調査目的 | 2 |
| | (2) 調査の概要 | 2 |
| | (3) 調査内容 | 3 |
| | (4) 留意事項 | 4 |
| 1-2 | 調査結果の要約 | 6 |
| 第2章 | 調査結果の分析 | 10 |
| 2-1 | 回答者の属性 | 11 |
| | (1) 業種 | 11 |
| 2-2 | 調査結果の分析 | 12 |
| | (1) 売上高 | 12 |
| | (2) 資金繰り | 14 |
| | (3) 金融機関からの借入 | 15 |
| | (4) 業界景気 | 16 |
| | (5) 雇用状況 | 18 |
| | (6) 経営上の問題点 | 22 |
| 2-3 | 経営支援メニュー | 32 |
| 2-4 | 新型コロナウイルス感染症の影響等について | 35 |
| 2-5 | その他自由意見 | 36 |
| 資料編 | | 39 |

第 1 章

調査結果の概要

1-1 調査概要

(1) 調査目的

白石商工会議所では、平成26年に改正された商工会議所及び商工会による小規模事業者の支援に関する法律「小規模事業者支援法」に基づき、小規模事業者の事業の継続的発展を支援する事業を展開している。

域内の小規模事業者を対象に現在の売上状況、業況、経営課題などを調査し、経営支援業務等に活用する基礎データを取得し、今後の経営改善、経営力強化に向けた支援を実施していくことを目的とする。

(2) 調査の概要

- 調査対象 白石市内の小規模事業者 522 社
- 調査方法 郵送配布・郵送回収・巡回配布・巡回回収
- 調査時期 令和2年10月15日～10月30日
- 総回収数・率 281件 (53.8%)
- 有効回答数・率 281件 (53.8%)

| 業 種 | 総回答数 (件) |
|-------|----------|
| 合計 | 281 |
| 製造業 | 28 |
| 非製造業 | 253 |
| 卸売業 | 7 |
| 小売業 | 76 |
| 飲食業 | 39 |
| サービス業 | 60 |
| 建設業 | 63 |
| 運輸業 | 3 |
| 不動産業 | 5 |
| 無回答 | 0 |

(3) 調査内容

- 事業者属性 (業種)
- 売上高 (今期実績、次期見通し)
- 資金繰り (今期実績、借入)
- 業界景気 (今期実績、次期見通し)
- 雇用人数 (従業員数、正規雇用者数、今期実績、次期見通し)
- 経営上の問題点
- 経営支援サービス利用状況

(4) 留意事項

- n= (number of cases) とは、設問ごとの回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。
複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- 数値の単位未満は四捨五入を原則としたため、各項目の値の合計が総数と一致しない場合がある。
- 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- クロス集計では、回収サンプルが少ないセグメントについては、コメントを付していないものがある。

○ D I について

D I とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略であり、「良い/悪い」「増加/減少」などの定性的な判断を指標として集計・加工した指数である。

○ 本調査における D I の算出方法について

売上高 「増加」と答えた事業者の割合－「減少」と答えた事業者の割合

⇒D I 値が大きいほど、業況は良いということになる。

資金繰り 「増加」と答えた事業者の割合－「減少」と答えた事業者の割合

⇒D I 値が大きいほど、資金繰りが増加した事業者が多いということになる。

金融機関の借入 「緩い」と答えた事業者の割合－「厳しい」と答えた事業者の割合

⇒D I 値が大きいほど、融資等を受けるのが容易ということになる。

業界景気 「好転」と答えた事業者の割合－「悪化」と答えた事業者の割合

⇒D I 値が大きいほど、業況判断は良いということになる。

従業員数 「過剰、増加」と答えた事業者の割合－「不足、減少」と答えた事業者の割合

⇒D I 値が大きいほど、増員予定の事業者が減員予定の事業者に比べ、多いということになる。

○ 事業所の規模について

事業者の規模は、商工会法（昭和 35 年 法律第 89 号）第 2 条に規定する商工業者で、常時使用する従業員数が商業・サービス業（宿泊業及び娯楽業を除く）にあつては 5 人以下、製造業、その他にあつては 20 人以下の企業としている。

| 業種 規模 | 製造業、建設業、運輸業、宿泊業、不動産業 | 卸売業、小売業、飲食業、サービス業 |
|----------|----------------------|-------------------|
| 小規模 | 20 人以下 | 5 人以下 |

○ 端数の処理について

数値の単位未満は四捨五入を原則としたため、各項目の値の合計が総数と一致しない場合がある。

1-2 調査結果の要約

～今期の業況DIは▲71.1、来期は好転の見通し～

今期の業況（業界景気）のDIは、▲71.1となり前期の▲65.1からも悪化となっている。業種別にみると、すべての業種でマイナスであり、製造業は▲56.5に対し非製造業は▲69.9（P16参照）となっている。

来期については、業況のDIは▲62.7（P17参照）となった。業種別では、卸売業・小売業・飲食業が好転する見通しで、運輸業・不動産業については不変の見通しとなっている。また、サービス業は▲73.3、製造業は▲64.0、建設業は▲54.2と悪化する見通しとなっている。

今回調査の結果(DI値)

| 調査項目(DI) | 今期 | 来期 | 来期見通し(今期実績との比較) | |
|-----------|-------|-------|-----------------|---|
| 売上高 | ▲65.1 | ▲58.6 | 上昇する見通し | 👉 |
| 資金繰り | ▲27.2 | — | — | — |
| 金融機関からの借入 | ▲50.6 | — | — | — |
| 業界景気 | ▲71.1 | ▲62.7 | 上昇する見通し | 👉 |
| 雇用人員 | ▲24.8 | ▲15.4 | 上昇する見通し | 👉 |

👉好転 🔄横ばい 👎悪化

* DI=「良い」と答えた事業者の割合(%)－「悪い」と答えた事業者の割合(%)

* 本調査における業況(事業者の業況)DIとは、設問1-3<業界景気について>をいう。

業界別業況(DI 値)

| 業種 | 今期 | 来期 | 来期見通し(今期実績との比較) | 業種 | 今期 | 来期 | 来期見通し(今期実績との比較) |
|-----|--------|-------|-----------------|-------|-------|-------|-----------------|
| 製造業 | ▲56.5 | ▲64.0 | 👇 | サービス業 | ▲56.1 | ▲73.3 | 👇 |
| 卸売業 | ▲100.0 | ▲85.7 | 👉 | 建設業 | ▲50.1 | ▲54.2 | 👇 |
| 小売業 | ▲83.6 | ▲73.0 | 👉 | 運輸業 | ▲33.3 | ▲33.3 | 👉 |
| 飲食業 | ▲92.2 | ▲67.8 | 👉 | 不動産業 | ▲80.0 | ▲80.0 | 👉 |

👉好転 🔄横ばい 👇悪化

*DI=「上昇」(「増加」、「緩い」、「好転」、「過剰」と答えた事業者の割合(%))

—▲「下降」(「減少」、「厳しい」、「悪化」、「不足」と答えた事業者の割合(%))

～問題点は「売上・受注の減少」が最も高い～

各項目のDIをみると、全体的に厳しい景況感となっている。経営上の最も重要と考える問題点は、製造業、非製造業ともに「売上・受注の減少」でそれぞれ47.4%、18.9%となっている。以下は製造業、非製造業ともに「消費・需要の停滞」でそれぞれ26.3%、16.0%となっている。業種別でみると、経営上の最も重要と考える問題点について、昨年に続き問題点の「売上・受注の減少」「消費・需要の停滞」を挙げている業種は卸売業、小売業、サービス業、建設業となっており、どの業種でも1、2位を占めている(建設業については「人手不足」が2位)。それ以外の業種では、飲食業が「競争の激化」、運輸業、不動産業が「消費・需要の停滞」を挙げている。今回はこれらの要因として、ほとんどが新型コロナウイルス感染症の影響だという意見だった。

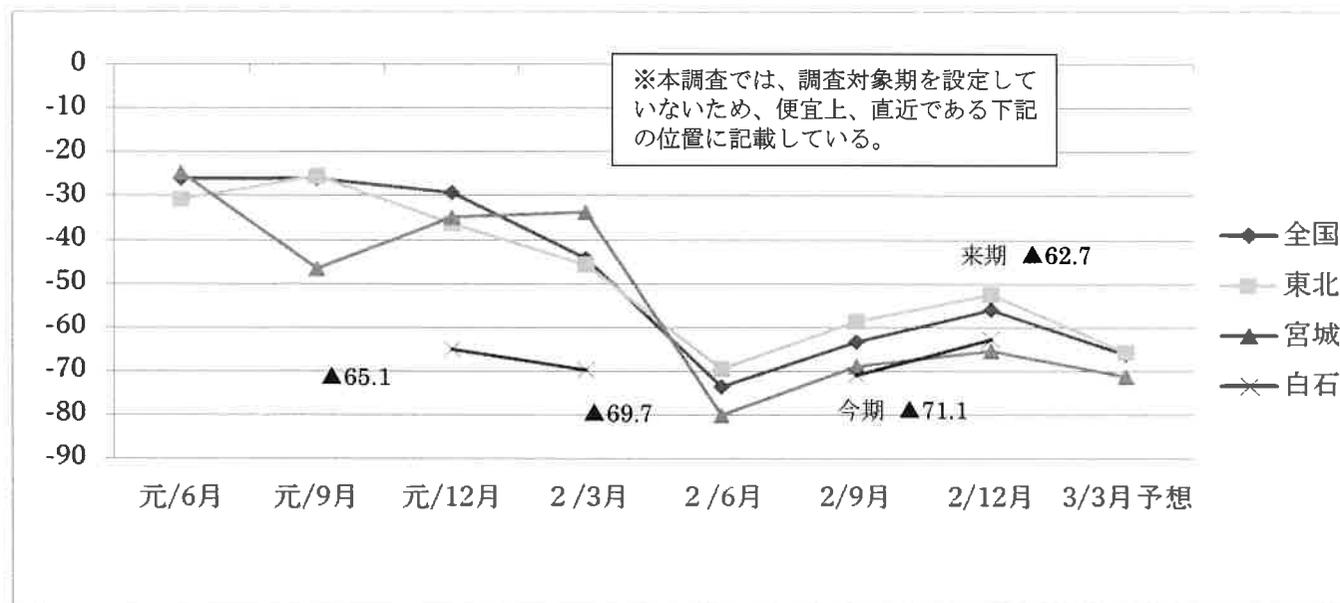
<参考> 全国及び東北の業況判断D I

令和2年10月～12月期における全国の業況判断D I（全業種）はコロナ禍で▲55.9と、前期（令和2年7月～9月）と比べ、マイナス幅が縮小した。

東北の業況判断D I（全業種）についても▲52.5で、前期よりマイナス幅が縮小した。

来期（令和3年1～3月）の見通しは、全国・東北及び宮城県についてもマイナス幅が拡大し下降と捉えられている。

全国及び東北の業況判断D I 推移（全業種）



全国地域別の業況判断DI

| | | 元/6月 | 元/9月 | 元/12月 | 2/3月 | 2/6月 | 2/9月 | 2/12月 | 3/3月 予想 |
|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 全業種 | 全国 | ▲26.0 | ▲26.0 | ▲29.2 | ▲44.4 | ▲73.7 | ▲63.3 | ▲55.9 | ▲66.2 |
| | 東北 | ▲30.7 | ▲25.5 | ▲36.3 | ▲45.6 | ▲69.4 | ▲58.7 | ▲52.5 | ▲65.8 |
| | 宮城県 | ▲24.7 | ▲46.7 | ▲34.8 | ▲33.7 | ▲80.0 | ▲68.9 | ▲65.4 | ▲71.2 |
| | 白石市 | | | ▲65.1 | ▲69.7 | | ▲71.1 | ▲62.7 | |

※DI=「良い」と答えた企業の割合(%)－「悪い」と答えた企業の割合(%)

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。▲はマイナスを表す。

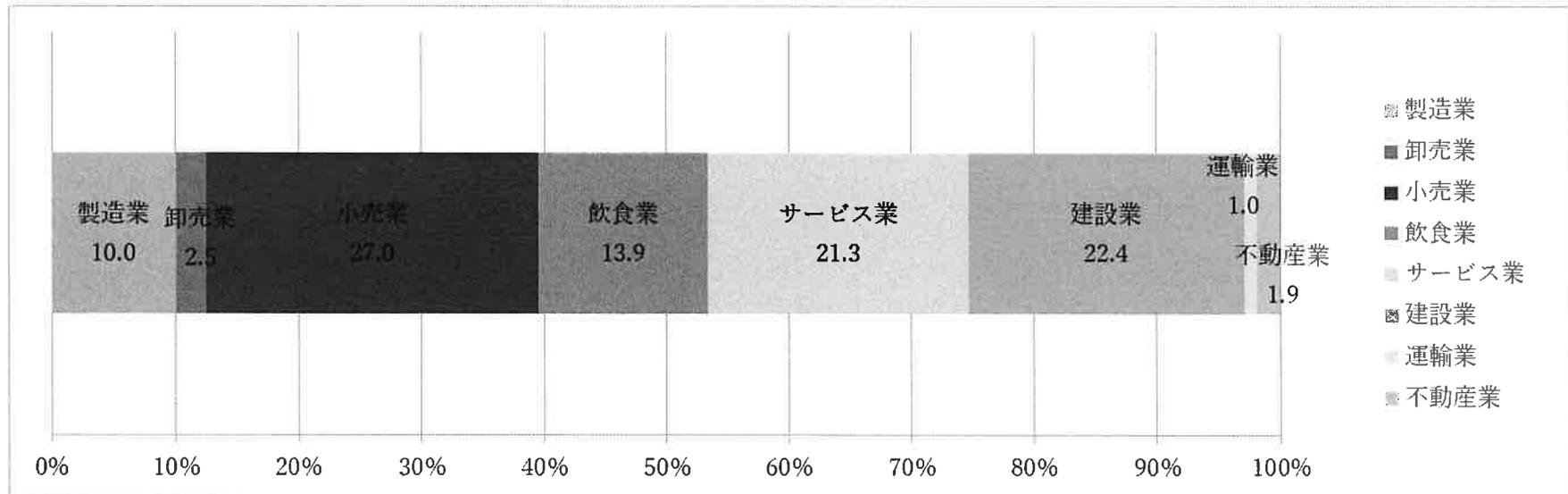
※東北・全国・宮城県については、「日本政策金融公庫 全国中小企業動向調査（小企業編）」におけるDI値。

第2章 調査結果の分析

2-1 回答者の属性

(1) 業種

回答者の業種は、「小売業」27.0%、「建設業」22.4%、「サービス業」21.3%、「飲食業」13.9%、「製造業」10.0%、「卸売業」2.5%、「不動産業」1.9%、「運輸業」1.0%となっている。



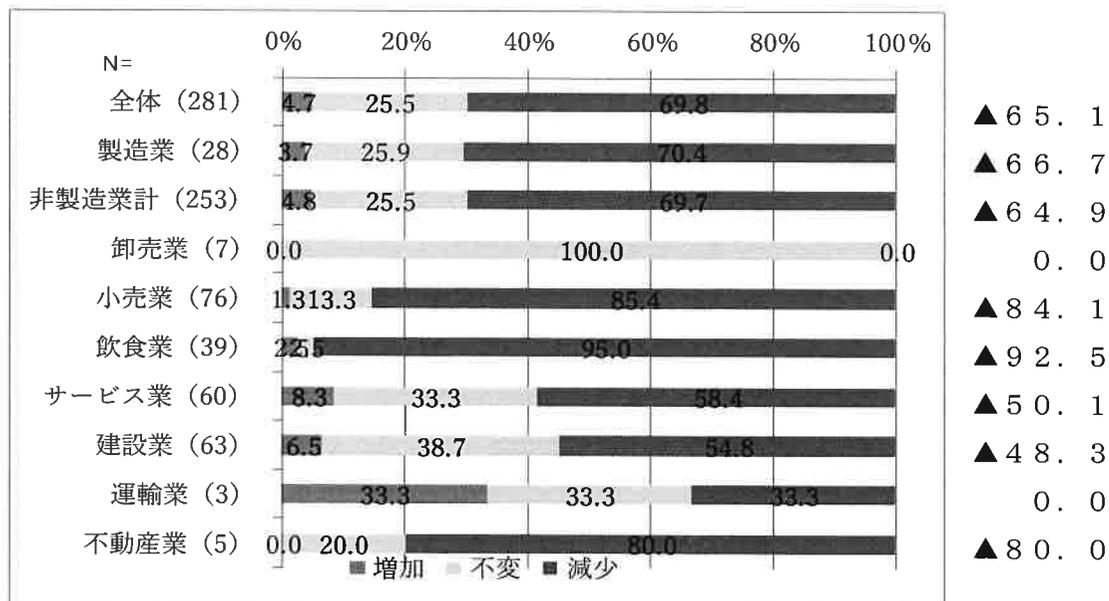
2-2 調査結果の分析

(1) 売上高

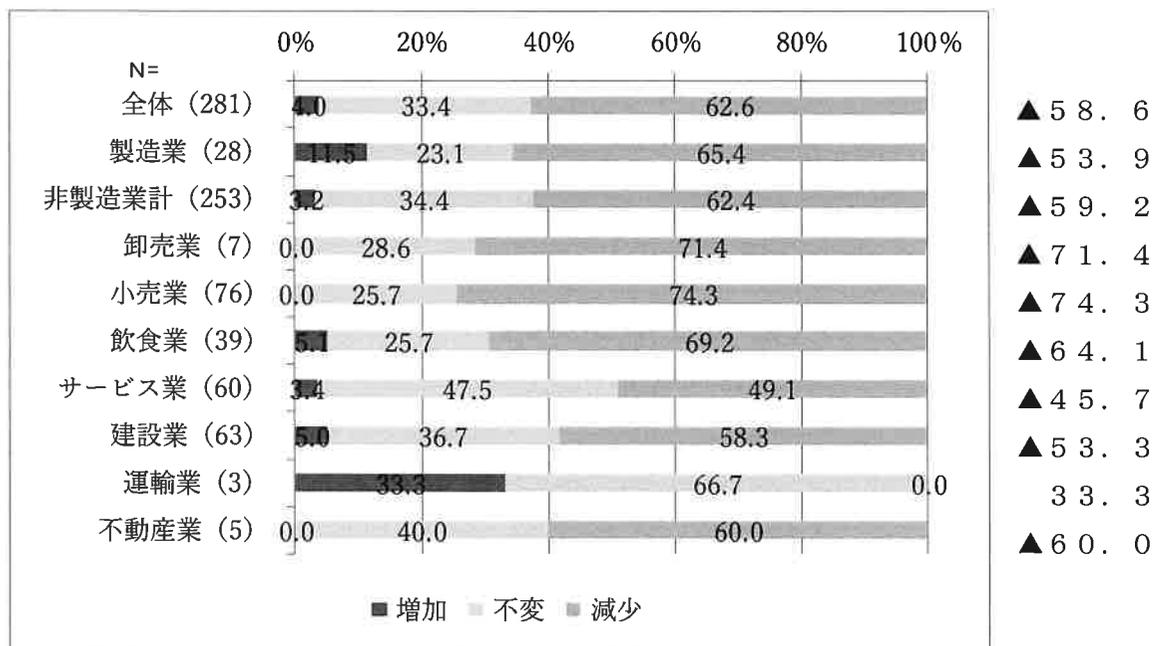
現在の売上高のD I（「増加」と答えた事業者の割合－「減少」と答えた事業者の割合）は▲65.1であった。今回、卸売業、運輸業、は 0.0 だが、その他すべての業種でマイナスとなっており、特に新型コロナウイルス感染症の影響で飲食業は▲92.5、小売業は▲84.1となっている。

今後の売上高のD Iは全体で見ると▲58.6と今期に比べマイナス幅が縮小し、好転する見通しである。業種別で見ると、運輸業は 33.3と好転、一方卸売業は▲71.4 建設業が▲53.3とマイナス幅が増加、それ以外のすべての業種は好転する見通しである。

売上高（現在の見通し）



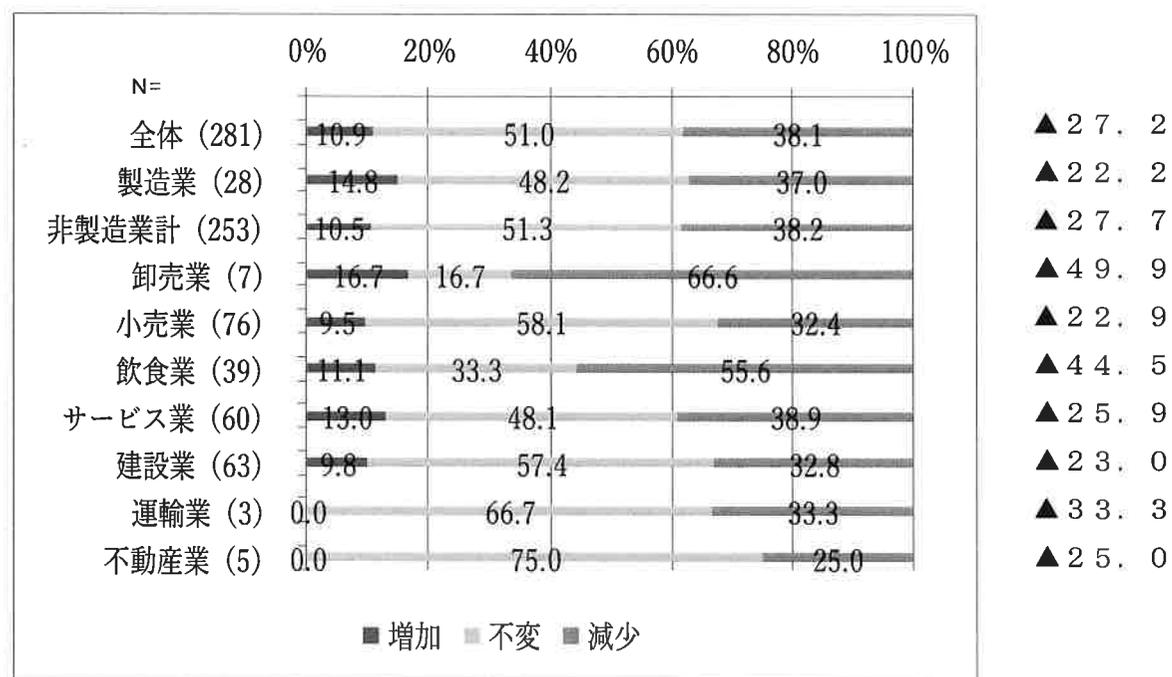
売上高（今後の見通し、現在との比）



(2) 資金繰り

現在の資金繰りのD I（「増加」と答えた事業者の割合－「減少」と答えた事業者の割合）は▲27.2であった。すべての業種で、マイナスとなっている。

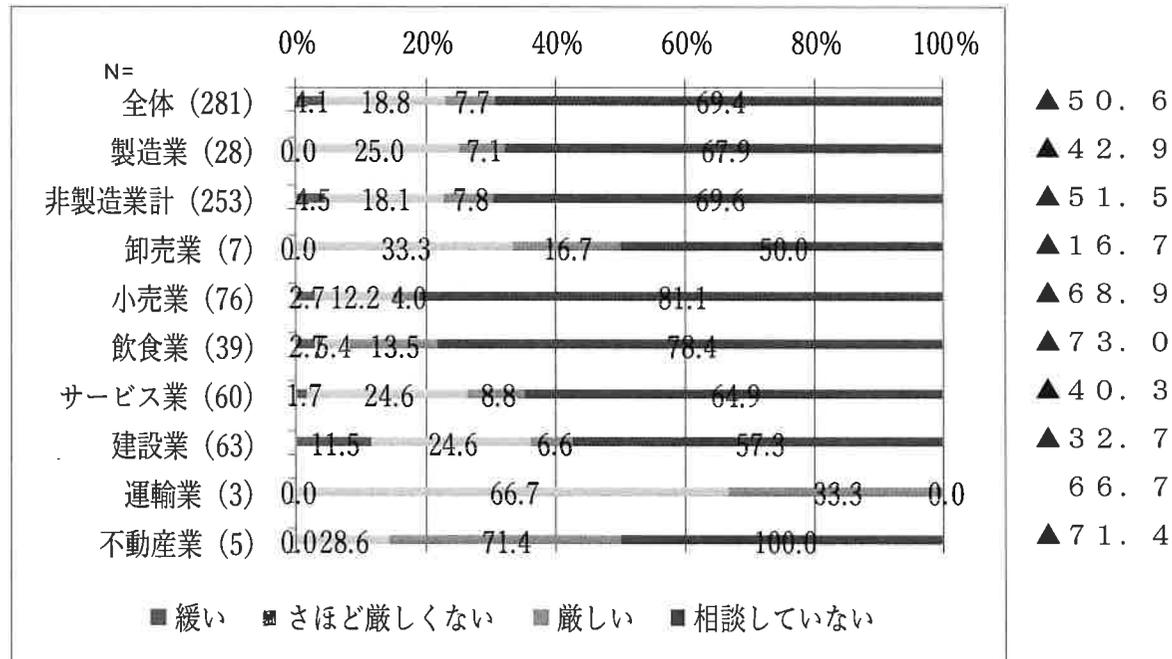
資金繰り（現在の実績、これまでとの比）



(3) 金融機関からの借入

今後の借入のD I（「緩い」と答えた事業者の割合－「厳しい」と答えた事業者の割合）は▲50.6であった。業種別でみると、運輸業が66.7、その他すべての業種ではマイナスとなっている。

金融機関からの借入

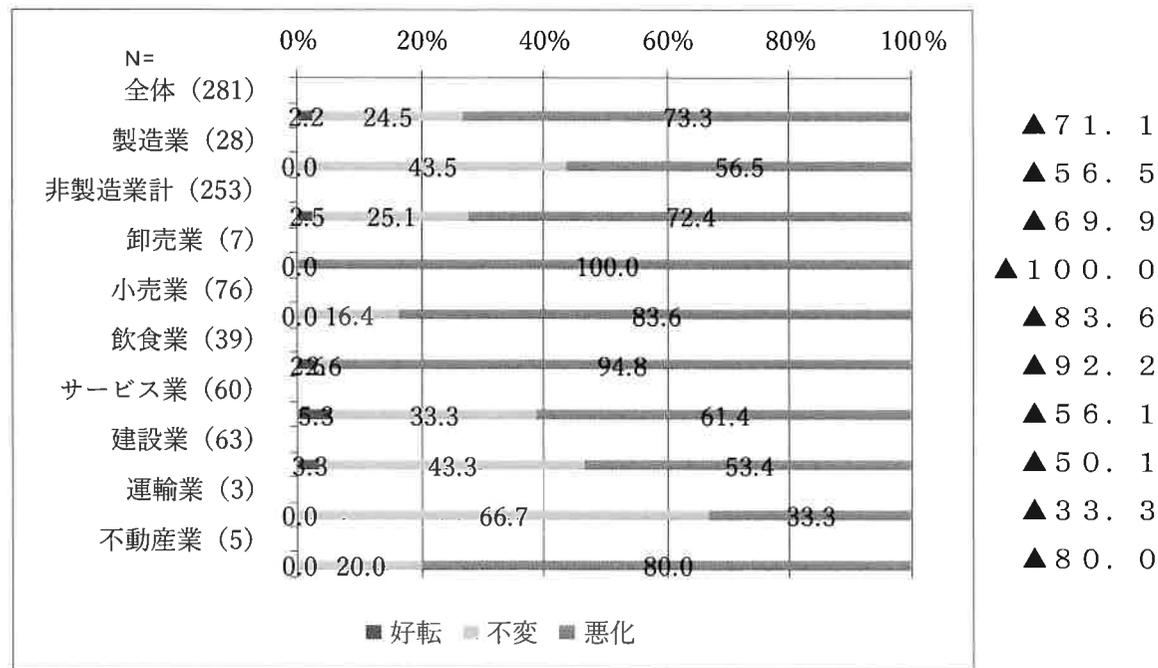


(4) 業界景気

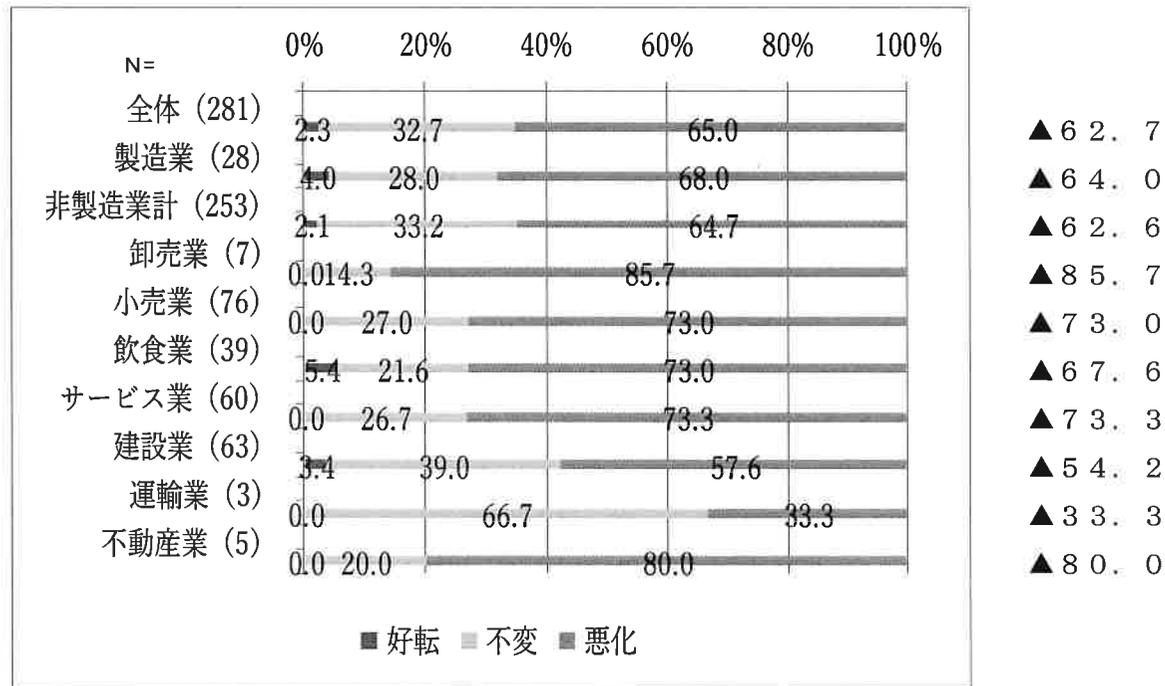
今回の業界景気のD I（「好転」と答えた事業者の割合－「悪化」と答えた事業者の割合）は▲71.1であった。すべての業種でマイナスとなっており、特に卸売業は▲100.0、飲食業は▲92.2、小売業は▲83.6、不動産業は▲80.0、サービス業は▲56.1となり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け暗転した。

今後の業界景気見通しのD Iは▲62.7と現在と比べマイナス幅が縮小し、好転する見通しである。業種別でみると、卸売業・小売業・飲食業は好転、運輸業・不動産業は不変、製造業・サービス業・建設業についてはマイナス幅が増加し悪化するという見通しである。

業界景気（現在の実績、これまでとの比）



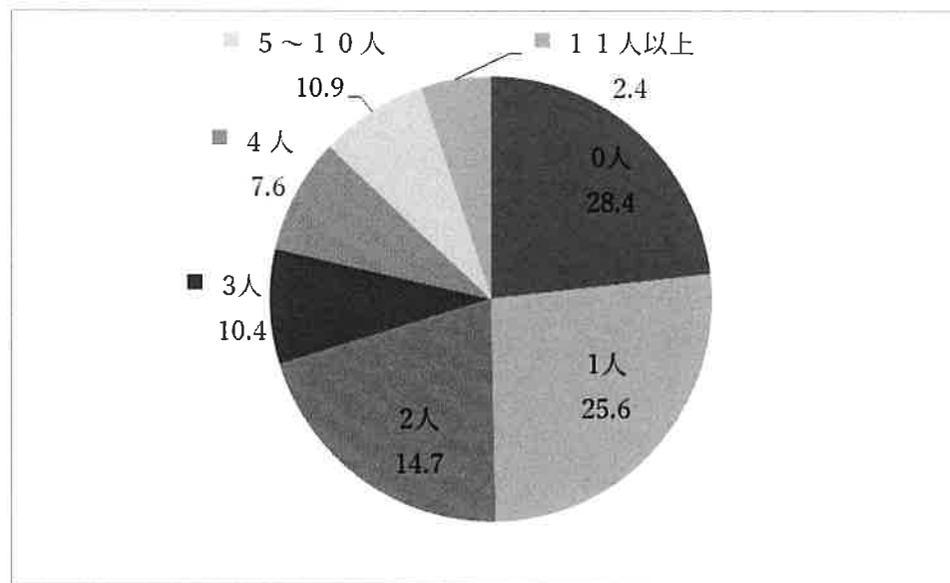
業界景気（今後の見通し、現在との比）



(5) 雇用状況

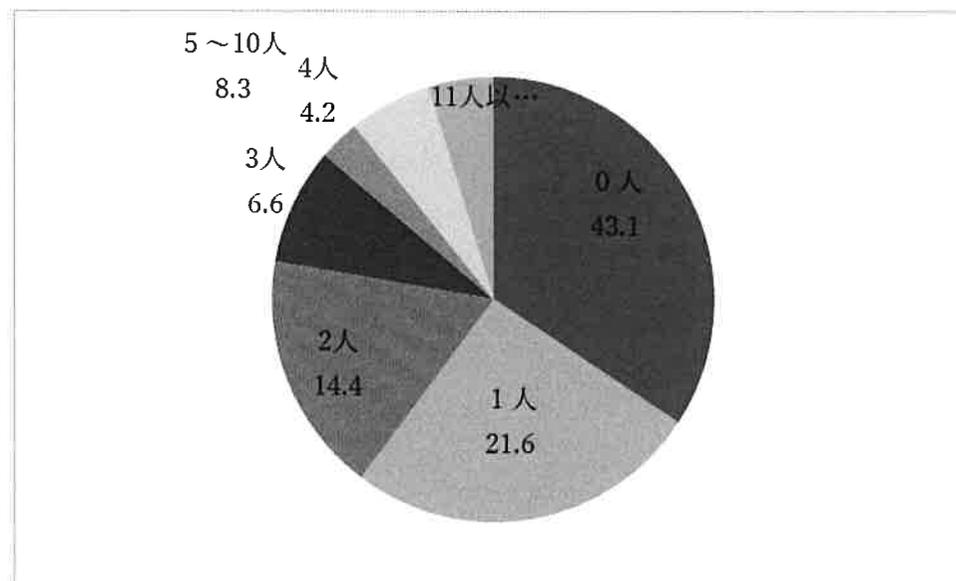
現在の従業員数は、「0人」が28.4%と最も多く、以下「1人」25.6%、「2人」14.7%、「5～10人」10.9%であった。
正規雇用者数については、「0人」が43.1%と最も多く、以下「1人」21.6%、「2人」14.4%、「5～10人」8.3%となっている。

【従業員数】



N=281

【うち正規雇用者数】

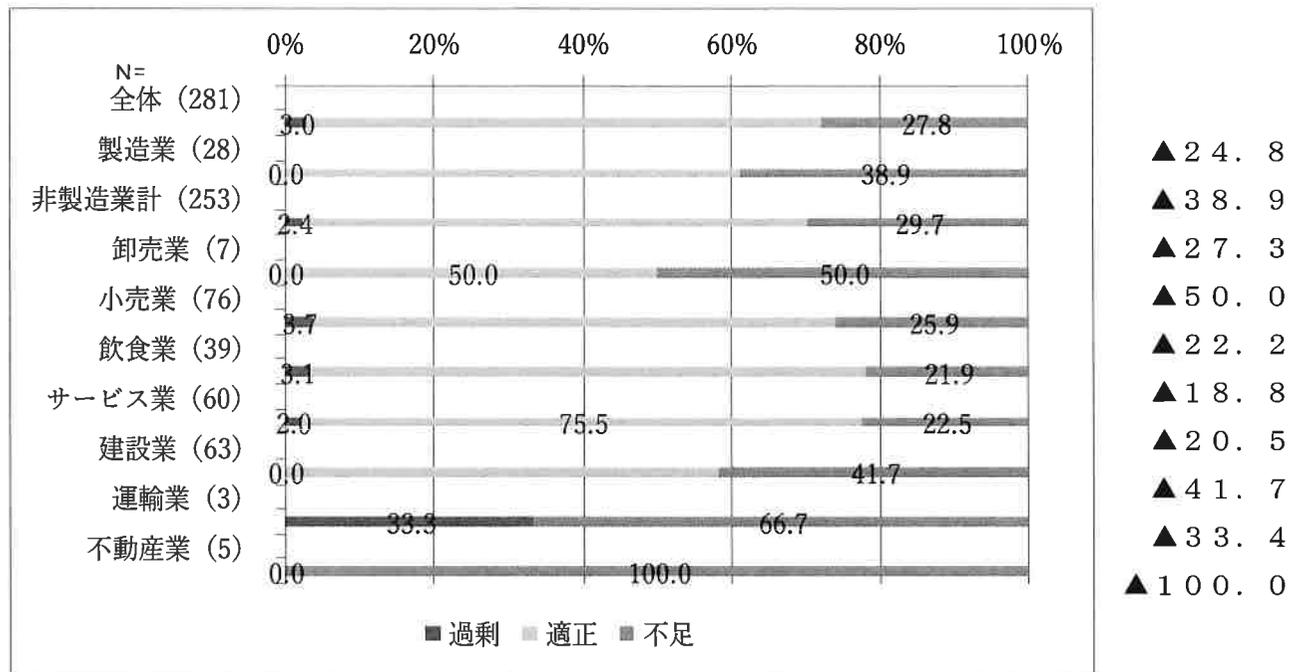


N = 281

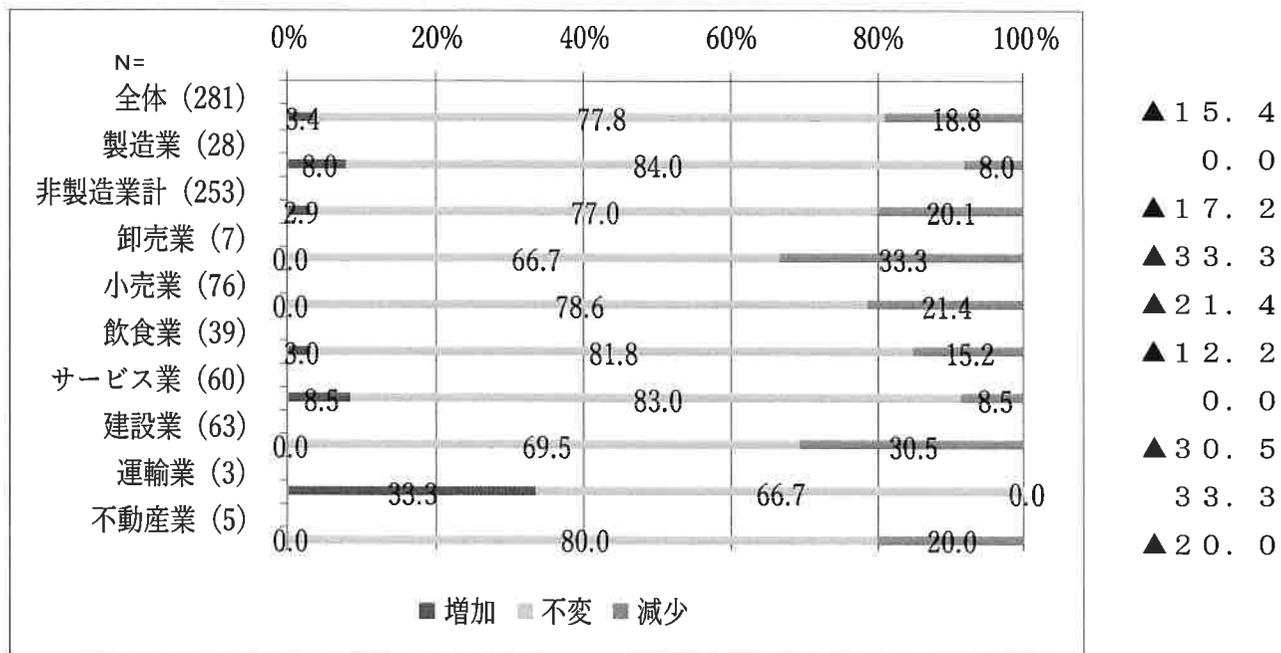
現在の雇用人員のD I（「過剰」と答えた事業者の割合－「不足」と答えた事業者の割合）は▲24.8であった。すべての業種でマイナスとなっており、不動産業においては▲100.0と最も多くなっている。

今後の雇用人員のD Iは▲15.4と現在実績に比べマイナス幅が縮小し増加する見通しである。業種別で見ると、製造業、サービス業では不変で、運輸業では33.3となっている。

雇用人員（現在の実績、これまでとの比）



雇用人員（今後の見通し、現在との比）



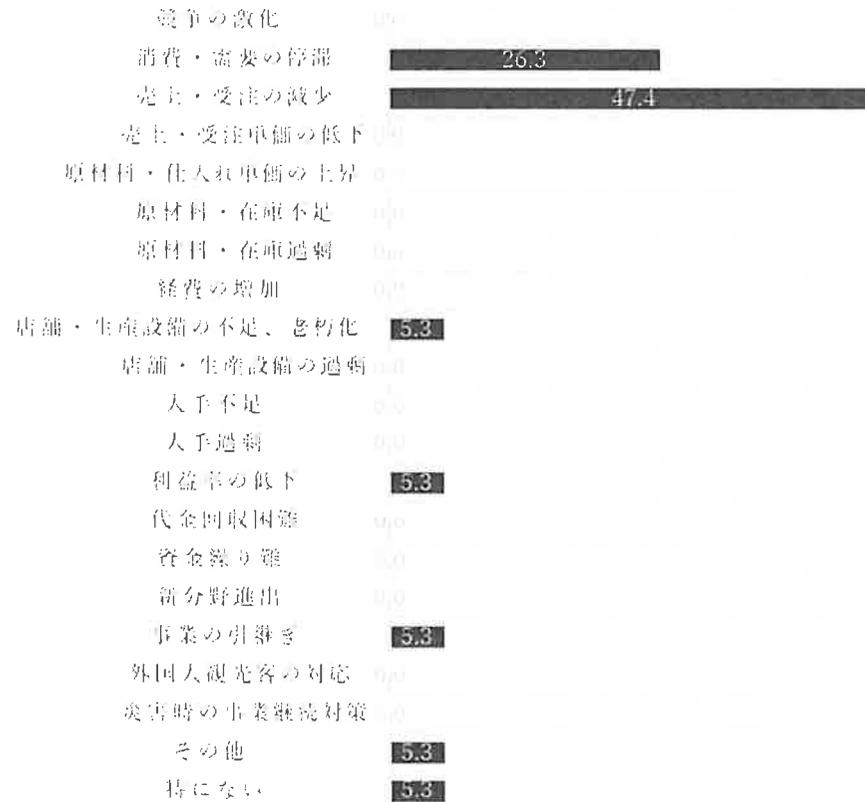
(6) 経営上の問題点

経営上の最も重要と考える問題点は、昨年引き続き製造業、非製造業ともに「売上・受注の減少」が最も高くそれぞれ47.4%と18.9%という結果となった。

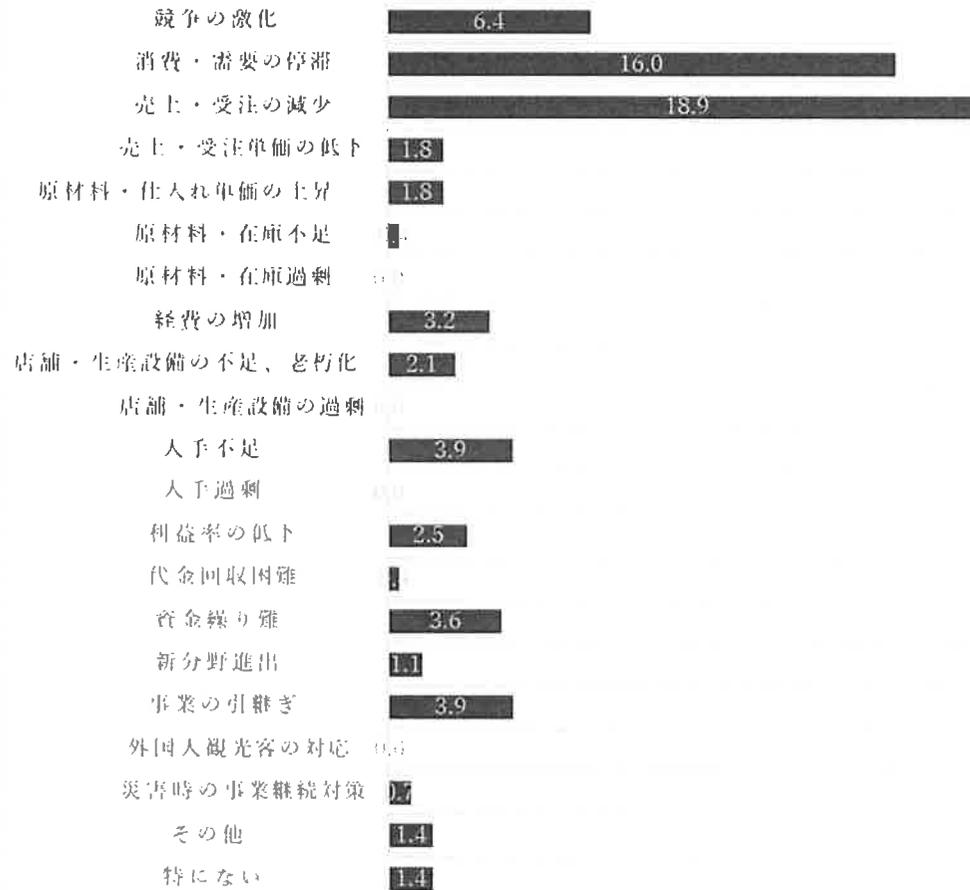
以下について、製造業では「消費・需要の停滞」が26.3%、「店舗・生産設備の不足、老朽化」・「利益率の低下」・「事業の引継ぎ」が5.3%となっている。非製造業では、「消費・需要の停滞」が16.0%、「競争の激化」が6.4%、「人手不足」・「事業の引継ぎ」が3.9%、「資金繰り難」が3.6%、「経費の増加」が3.2%、その他「利益率の低下」・「店舗・生産設備の不足、老朽化」・「売上・受注単価の低下」・「原材料・仕入れ単価の上昇」・「新分野進出」など問題は幅広くなっている。

業種別では、卸売業については「売上・受注の減少」が60.0%、「消費・需要の停滞」・「売上・受注単価の低下」がそれぞれ20.0%となった。小売業では、「売上・受注の減少」が34.7%、「消費・需要の停滞」が32.7%、「資金繰り難」が8.2%、「競争の激化」・「事業の引継ぎ」が6.1%、「売上・受注単価の低下」・「原材料・仕入れ単価の上昇」・「経費の増加」・「店舗・生産設備の不足、老朽化」・「新分野進出」がそれぞれ2.0%となった。飲食業については、「競争の激化」が32.1%、「消費・需要の停滞」が25.0%、「資金繰り難」が14.3%、「店舗・生産設備の不足、老朽化」・「事業の引継ぎ」がそれぞれ7.1%、「売上・受注単価の低下」・「原材料・仕入れ単価の上昇」・「経費の増加」・「人手不足」・「利益率の低下」がそれぞれ3.6%となった。サービス業では、「消費・需要の停滞」・「売上・受注の減少」がそれぞれ20.5%、「経費の増加」が13.6%、「競争の激化」・「原材料・仕入れ単価の上昇」・「店舗・生産設備の不足、老朽化」・「資金繰り難」・「事業の引継ぎ」・「災害時の事業承継対策」がそれぞれ4.5%、「売上・受注単価の低下」・「原材料・在庫不足」・「人手不足」・「利益率の低下」・「新分野進出」がそれぞれ2.3%となった。建設業については、「売上・受注の減少」が25.9%、「人手不足」が16.7%、「競争の激化」・「消費・需要の停滞」・「利益率の低下」・「事業の引継ぎ」がそれぞれ5.6%、「経費の増加」が3.7%、「売上・受注単価の低下」・「原材料・仕入れ単価の上昇」・「代金回収困難」・「新分野進出」がそれぞれ1.9%となっている。運輸業については、「消費・需要の停滞」・「人手不足」・「利益率の低下」がそれぞれ33.3%となっている。不動産業では、「消費・需要の停滞」が75.0%、「競争の激化」が25.0%という結果となった。

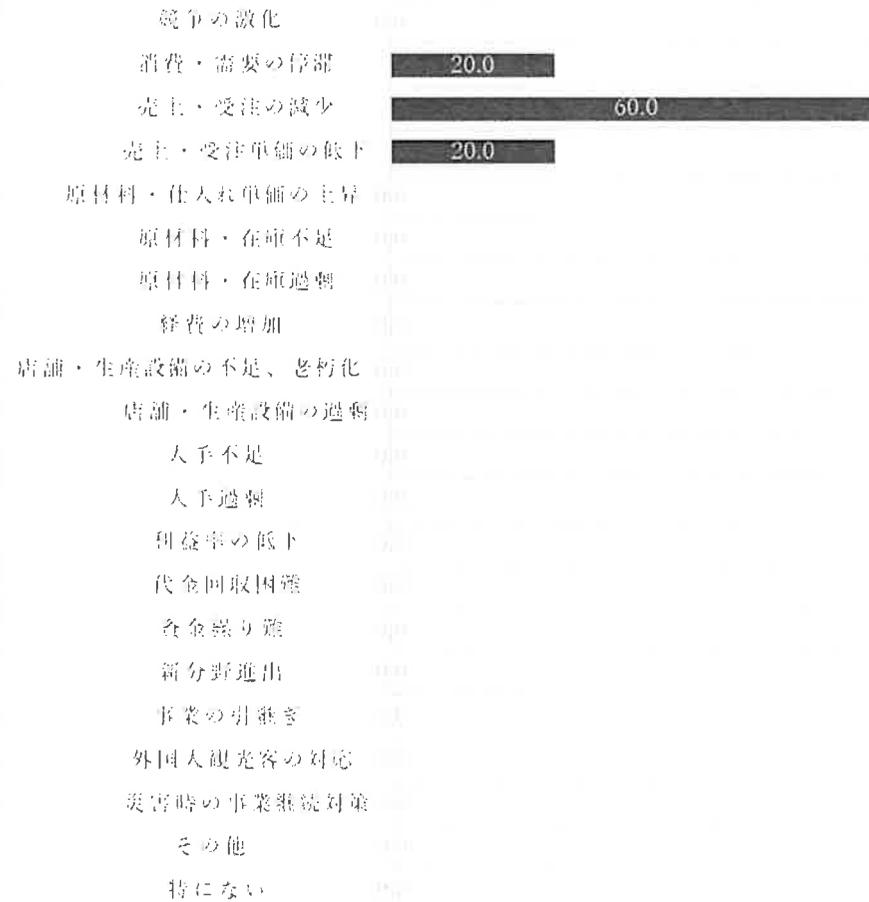
製造業(28)



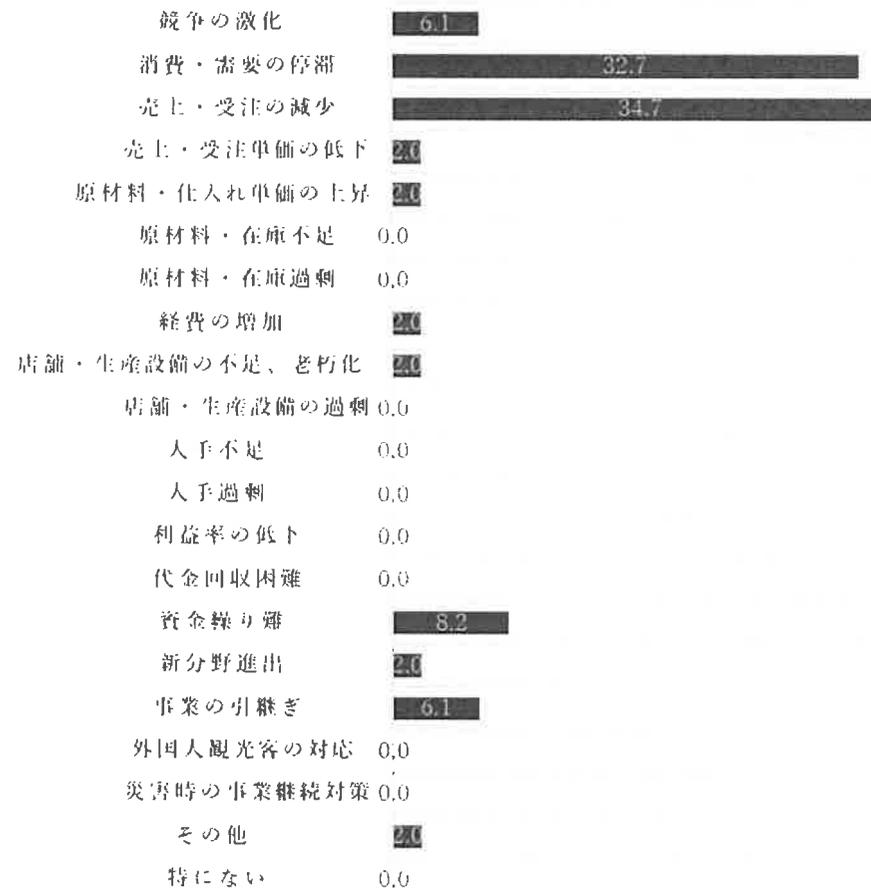
非製造業計 (241)



卸売業（5）



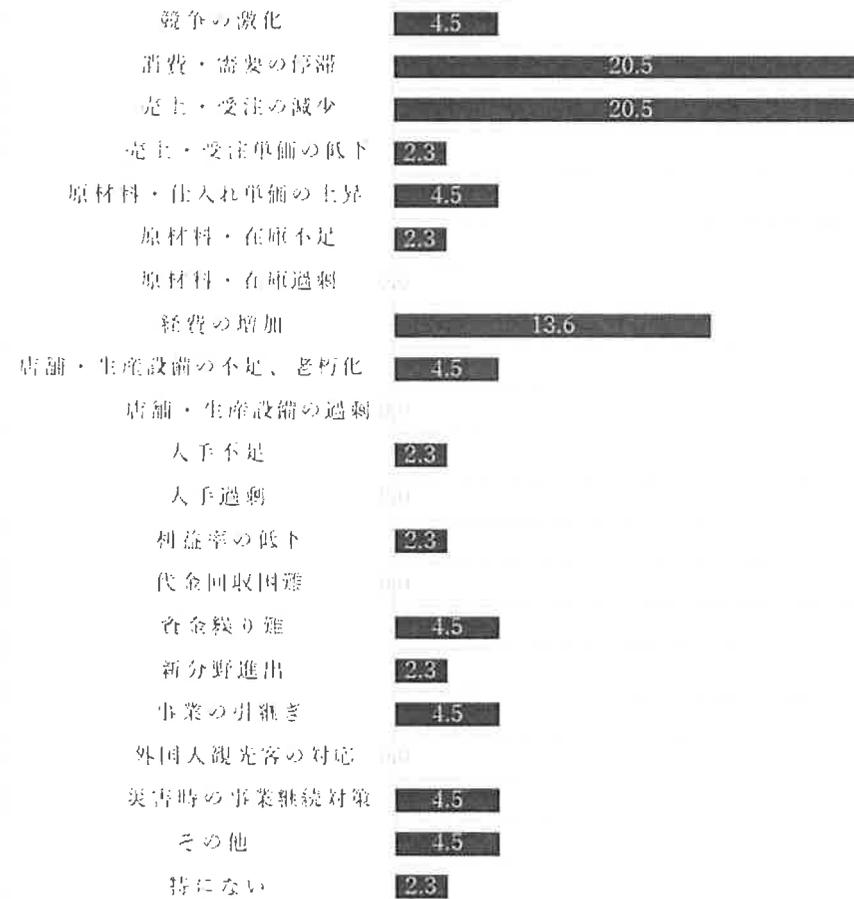
小売業(76)



飲食業(39)



サービス業 (60)



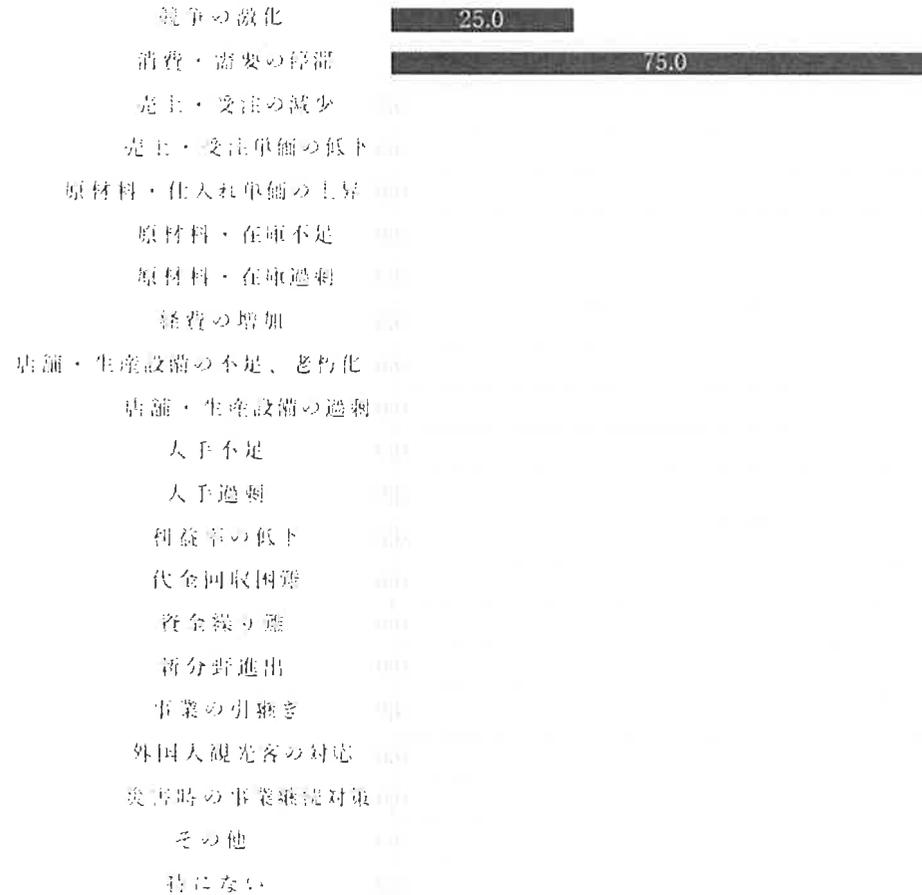
建設業 (63)



運輸業 (3)

| | |
|----------------|------|
| 競争の激化 | |
| 消費・需要の停滞 | 33.3 |
| 売上・受注の減少 | |
| 売上・受注単価の低下 | |
| 原材料・仕入れ単価の上昇 | |
| 原材料・在庫不足 | |
| 原材料・在庫過剰 | |
| 経費の増加 | |
| 店舗・生産設備の不足、老朽化 | |
| 店舗・生産設備の過剰 | |
| 人手不足 | 33.3 |
| 人手過剰 | |
| 利益率の低下 | 33.3 |
| 代金回収困難 | |
| 資金繰り難 | |
| 新分野進出 | |
| 事業の引継ぎ | |
| 外国人観光客の対応 | |
| 災害時の事業継続対策 | |
| その他 | |
| 特になし | |

不動産業(5)

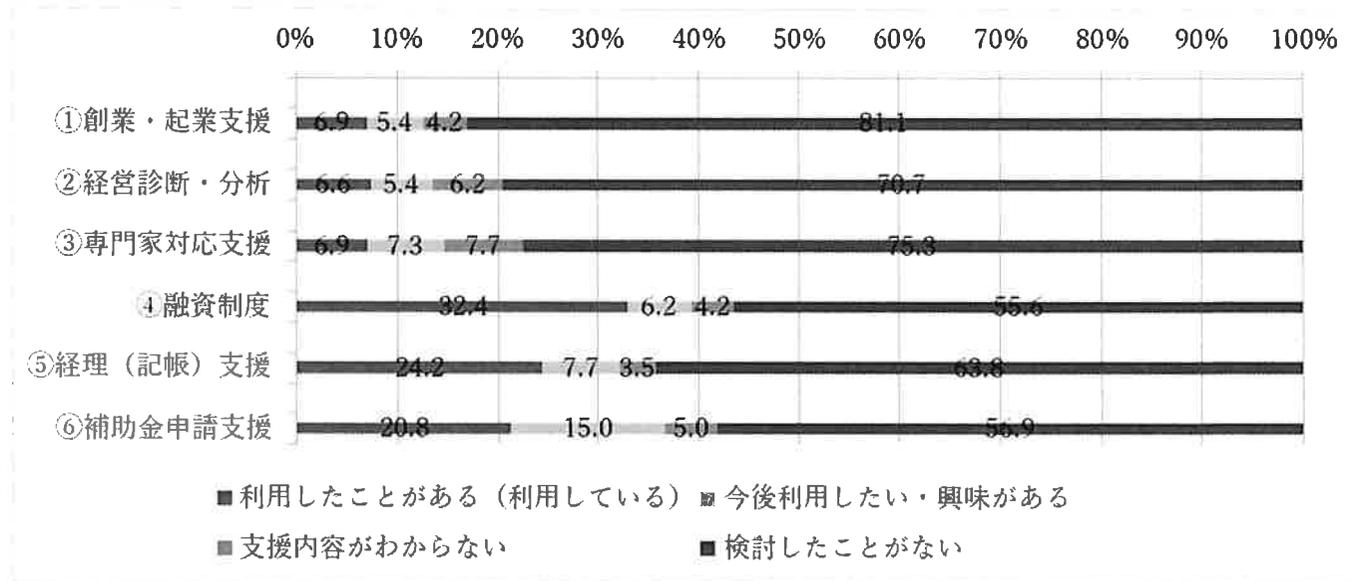


2-3 経営支援メニュー

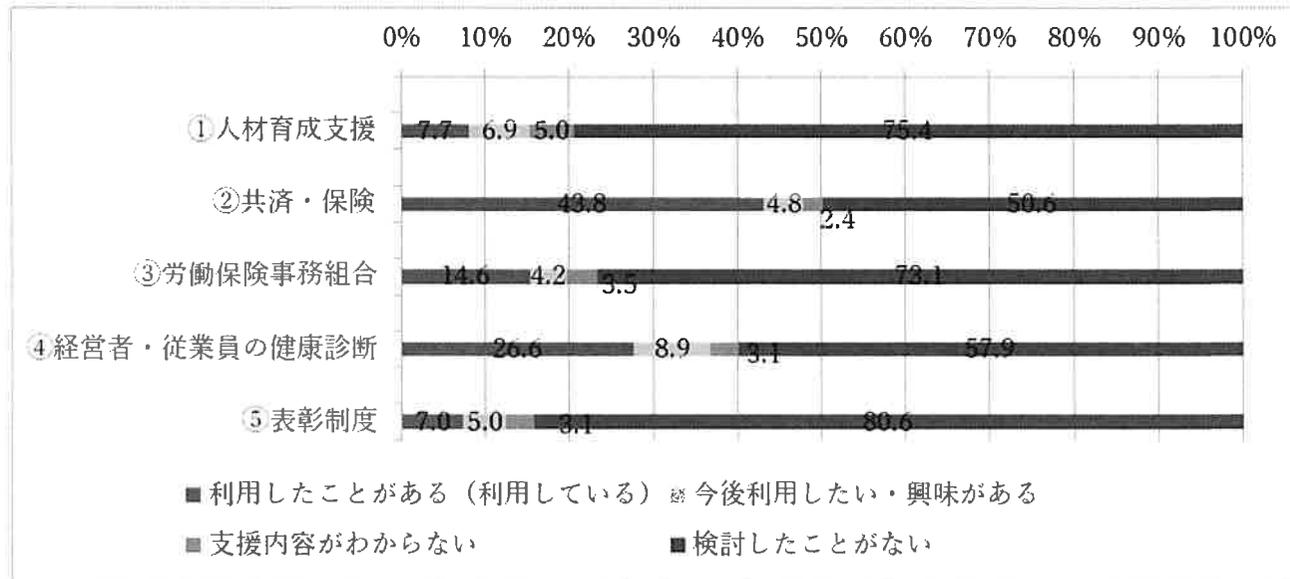
白石商工会議所が会員事業所や小規模事業者を対象に行っている各種経営支援サービス（経営相談、人材育成・福利厚生）は、「利用したことがある（利用している）」項目では、「共済・保険」が43.8%と最も多く、以下「融資制度」32.4%、「経営者・従業員の健康診断」26.6%、「経理（記帳）支援」24.2%、「補助金申請支援」20.8%となった。共済は当所基本共済制度である「生命共済」について年2回の加入キャンペーンを行い、経営者・従業員の加入勧奨に努めている。融資については今年度、新型コロナウイルス感染症の影響等で特別貸付等の相談が増加した。健康診断は、毎年会員事業所より1,000余名の方が受診されている。経理支援としては、弥生会計の指導や帳簿の記帳指導、確定申告相談が利用されている。「今後利用したい・興味がある」項目では、「補助金申請支援」が15.0%、「経営者・従業員の健康診断」が8.9%、「経理（記帳）支援」が7.7%、「専門家対応支援」が7.3%となっている。補助金関係では小規模事業者持続化補助金について、ここ数年当所指導の下、採択を受けた事業者も増え、興味・期待が持たれていることが伺える。また、新型コロナウイルス感染症の関係補助金や給付金があり、申請の指導も増える事となった。

なお、各項目について「検討したことがない」とする割合は、それぞれすべてにおいて約5～8割となっている。

経営相談

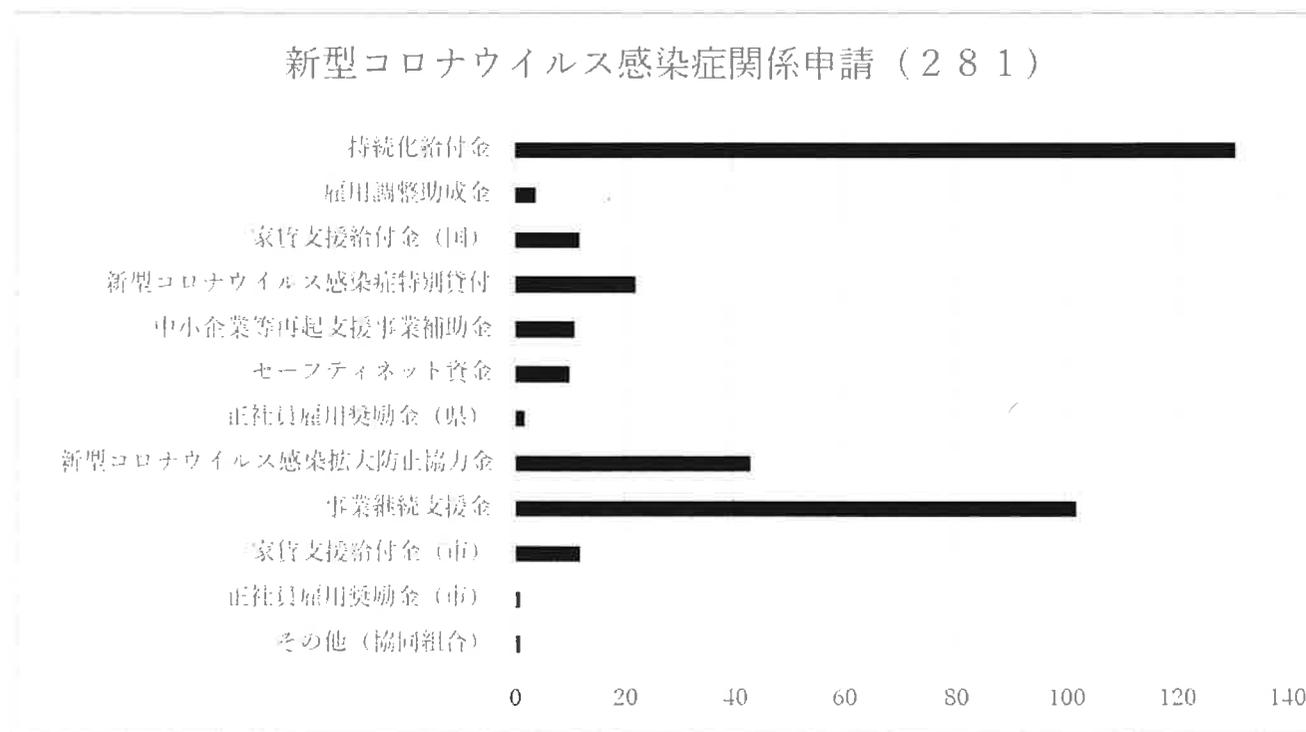


人材育成・福利厚生



2-4 新型コロナウイルス感染症の影響等について

新型コロナウイルス感染症関係の支援策について、申請済のものについて回答。国の持続化給付金が最も多く、131件が申請済。次に、市の支援策、事業継続支援金で102件。その外、新型コロナウイルス感染拡大防止協力金が43件、新型コロナウイルス感染症特別貸付が22件、家賃支援給付金は国・市ともに12件、中小企業等再起支援事業補助金が11件、セーフティネット資金が10件、雇用調整助成金4件、県の正社員雇用奨励金が2件、市の正社員雇用奨励金1件、その他として加入している協同組合の支援給付金（生花業）が1件となった。



2-5 その他自由意見

| 業 種 | 意 見 |
|-----|---|
| 製造業 | (コロナ関係) その場しのぎの対策でも助かっているので、これからもどんどん対策を実行してほしい。 |
| 製造業 | (コロナ関係) わずかの差で、各支援の対象にならないので大変。 |
| 卸売業 | コロナ禍の影響で、業務縮小して営業中。 |
| 小売業 | (コロナ関係) 持続化給付金の第2段を望む。 |
| 小売業 | 後継者が生じる状況が乏しく、経営者の高齢化の加速している。 |
| 小売業 | 白石市が活性化しないと、商店会も活性化しない。是非、雇用が生まれる会社や工場の誘致をしてほしい。また白石城はじめ観光に恵まれているので、人を呼ぶ設備等の整備をしてもらいたい。 |
| 小売業 | コロナ禍がいつまで続くか分からないが、給付金等の支援を長期でお願いしたい。 |
| 小売業 | (コロナ関係) 白石市のワンだふるクーポン事業の精算期間を、月2回に増やしてほしい。 |
| 小売業 | 町中にドラックストアやスーパーが出来れば、お客様が集り賑わいになる。 |
| 小売業 | 市へ、人口減少への対策が必要。 |
| 小売業 | コロナ禍が長引けば、先行き不安。割増商品券のような購買意欲をそそる事業を続けてほしい。 |
| 飲食業 | 市民に向け、人口増加への諸案をアンケートで募ってはどうか。 |
| 飲食業 | コロナの支援策より、もっと先の「街づくり」にお金をつぎ込んでほしい。 |
| 飲食業 | (コロナ関係) もう一度持続化給付金をお願いしたい。GoTo キャンペーン等申請を簡単にしてほしい。 |
| 飲食業 | 予約のみの営業中。コロナ禍のせいなのか、最近不審者が多いと思う。 |
| 飲食業 | 白石市観光協会の事業内容が、不透明で分からない。 |
| 飲食業 | 消費税・事業税について免税してほしい。 |
| 飲食業 | 一刻も早く、コロナ禍の終息を目指し対策を取ってほしい。安心のない社会では、消費は戻らない。 |

| 業 種 | 意 見 |
|-------|--|
| 飲食業 | (コロナ関係) 持続化給付金はすぐに使い果たし、持続か廃業か考えさせられる。 |
| サービス業 | コロナ対策割増商品券は一定の効果があったが、販売の発表が遅かったと思う。 |
| サービス業 | 地元企業を優先的に、発注してほしい。 |
| サービス業 | (コロナ関係) 給付金、協力金は、一時にせよ助かった。 |
| サービス業 | (コロナ関係) 市の支援策、今後も継続してもらいたい。 |
| サービス業 | (コロナ関係) 税金を使う事業は、平等なものにしてほしい。GoTo トラベルは、やめた。 |
| サービス業 | コロナ禍の為か、市の観光業への取り組みが力強さに欠けていると感じる。 |
| サービス業 | 他地域から学び真似して、もっと若者が頑張れる町にしてもらいたい。 |
| サービス業 | 各業界、コロナ対策は行っているが、今1つ消費者の流れが悪い。 |
| サービス業 | GoTo トラベルを使ったが、旅館の料金が以前より割増になっており驚いた。 |
| サービス業 | 家賃の支払いが大変だが、高齢なので手続きが難しく家賃支援金の申請をしなかった。もっと、簡素化してほしい。 |
| サービス業 | コロナ禍で、次年度の方が心配。 |
| サービス業 | 国・県・市でもっと連携し、役割分担をもって対策してほしい。 |
| 建設業 | 一人親方は、大変な時期。今後世の中がどう変化するのか心配。 |
| 建設業 | 経済がよくなるように、景気対策をお願いしたい。 |
| 建設業 | 行政等は諸工事、資材・製品の購入等、可能な限り地元を使って。高齢化が深刻な問題。時代の流れとは言え、老舗が消えるのは身につまされる。 |
| 建設業 | 道路・河川維持、また復旧作業や危険個所の確認は随分しているが、市民の要望も反映してもらいたい。 |
| 建設業 | 市内業者を対象に、小規模店住宅改修工事等の支援金(10%) 制度があれば、活性化に繋がるのではないか。 |
| 建設業 | 公共事業を増加し、市内業者に受注してほしい。 |
| 建設業 | 白石の街をすべて水路開墾し「水辺の街」「歴史の街」に造り変えるべき。 |

| 業 種 | 意 見 |
|------|---|
| 運輸業 | (コロナ関係) 売上が▲10%でも特別貸付の対象にしてほしい。 |
| 不動産業 | 市内地の経済的活性化策が必要。 |
| 不動産業 | コロナ対策の税金の使われ方が、いい加減で不公平だ。パソコンや嘘が得意な人が恩恵を受けていると思う。 |

資料編

～2020白石の今を知る～ 小規模事業者のアンケート

貴事業所名と、本アンケートに回答された方の所属・役職・氏名、創業年をご記入ください。また、貴事業所の業種について、該当する番号に○を付けて下さい。複数の事業を行っている場合は、主たる事業をお答えください。(○はひとつ)

| | | | |
|-----------|--|------|-------------|
| ①事業 所名 | | ②記入者 | 所属・役職 氏名 |
|-----------|--|------|-------------|

| | |
|-----|--|
| ③業種 | 1. 製造業 2. 卸売業 3. 小売業 4. 飲食業 5. サービス業 6. 建設業 7. 運輸業 8. 不動産業 |
|-----|--|

問1 自社における前年同期と比較した「a. 今期実績」と、今期と比較した「b. 次期見通し」について、それぞれ該当する番号に○を1つ付けてください。また、主な要因・理由がありましたらご記入ください。

問1-1 売上高について

a. 今期実績 (前年同期と比較して)

| | | | |
|-------|-------|-------|----------|
| 1. 増加 | 2. 不変 | 3. 減少 | 主な理由 () |
|-------|-------|-------|----------|

b. 次期見通し (今期と比較して)

| | | | |
|-------|-------|-------|----------|
| 1. 増加 | 2. 不変 | 3. 減少 | 主な理由 () |
|-------|-------|-------|----------|

問1-2 資金繰りについて

a. 今期実績 (前年同期と比較して)

| | | | |
|-------|-------|-------|----------|
| 1. 増加 | 2. 不変 | 3. 減少 | 主な理由 () |
|-------|-------|-------|----------|

b.金融機関からの借入について

| |
|--|
| 1.緩い 2.さほど厳しくない 3.厳しい 4.相談していない 主な理由 () |
|--|

問 1-3 業界景気について

a.今期実績 (前年同期と比較して)

| |
|----------------------------|
| 1. 好転 2. 不変 3. 減少 主な理由 () |
|----------------------------|

b.次期見通し (今期と比較して)

| |
|----------------------------|
| 1. 好転 2. 不変 3. 減少 主な理由 () |
|----------------------------|

問 1-4 雇用人員について 現在の従業員数 () 名 うち正規雇用者 () 名

a.今期実績 (前年同期と比較して)

| |
|----------------------------|
| 1. 過剰 2. 適正 3. 不足 主な理由 () |
|----------------------------|

b.次期見通し (今期と比較して)

| |
|----------------------------|
| 1. 増加 2. 不変 3. 減少 主な理由 () |
|----------------------------|

問2 今期、直面している経営上の問題点について該当する番号に○を付けてください。(○はいくつでも)
また、最も重要な問題点をひとつだけ選び、該当する番号をご記入ください。

| | | |
|-----------------|-------------------|----------------|
| 1. 競争の激化 | 8. 経費の増加 | 15. 資金繰り難 |
| 2. 消費・需要の停滞 | 9. 店舗・生産設備の不足、老朽化 | 16. 新分野進出 |
| 3. 売上・受注の減少 | 10. 店舗・生産設備の過剰 | 17. 事業の引継ぎ |
| 4. 売上・受注単価の低下 | 11. 人手不足 | 18. 外国人観光客の対応 |
| 5. 原材料・仕入れ単価の上昇 | 12. 人手過剰 | 19. 災害時の事業継続対策 |
| 6. 原材料・在庫不足 | 13. 利益率の低下 | 20. その他 () |
| 7. 原材料・在庫過剰 | 14. 代金回収困難 | 21. 特になし |



最も重要と考える問題点
※上記の選択肢からひとつお選びください

問3 白石商工会議所では、会員事業所および小規模事業者に向けた支援活動として、下記の各種経営支援サービスを行っております。それぞれ該当する番号に○を1つ付けてください。

| 1. 経営相談 | 項目 | 利用したことがある(利用している) | 今後利用したい・興味がある | 支援内容がわからない | 検討したことがない |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------|---------------|------------|-----------|
| | ① 創業・起業支援 (創業に係る相談、新分野への相談) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 経営診断・分析 (財務分析、経営計画策定支援) | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ③ 専門家対応支援 (各分野の専門家の無料相談と派遣) | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ④ 融資制度 (白石市振興資金、日本政策金融公庫等) | 1 | 2 | 3 | 4 | |

| | | | | | |
|---------------------|--|---|---|---|---|
| | ⑤ 経理（記帳）支援 （記帳指導、税務申告相談） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | ⑥ 補助金申請支援 （補助金情報の提供、申請書類作成支援） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 人材育成、 福利厚生 | ① 人材育成支援 （講習会、セミナー、検定試験等） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | ② 共済・保険 （生命共済、特定退職金共済、他各種保険） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | ③ 労働保険事務組合 （労働保険事務の代行） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | ④ 経営者・従業員の健康診断 （定期健康診断、PET-CT がん検診） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | ⑤ 表彰制度 （永年勤続優良従業員の表彰） | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 4 新型コロナウイルス感染症の影響等について、ご記入下さい。

問 4-1 申請したものがあれば○をつけて下さい。

- ①国の支援策（①持続化給付金 ②雇用調整助成金 ③家賃支援給付金 ④新型コロナウイルス感染症特別貸付）
 ②県の支援策（①中小企業等再起支援事業補助金 ②セーフティネット資金 ③正社員雇用奨励金）
 ③市の支援策（①新型コロナウイルス感染拡大防止協力金 ②事業継続支援金 ③家賃支援給付金
 ④正社員雇用奨励金）
 ④その他（ ）

問 4-2 行政等へのご要望等自由にご記入下さい。

問 5 その他、貴事業所の現況及び同業者内における業界の話題・噂等自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて、2020年10月30日（金）までにご返送くださいますようお願い申し上げます。

発行 白石商工会議所

〒989-0256 宮城県白石市字本鍛冶小路 13 番地

電話 0224-26-2191

FAX 0224-26-3222